

うぶやま天文台星空情報①

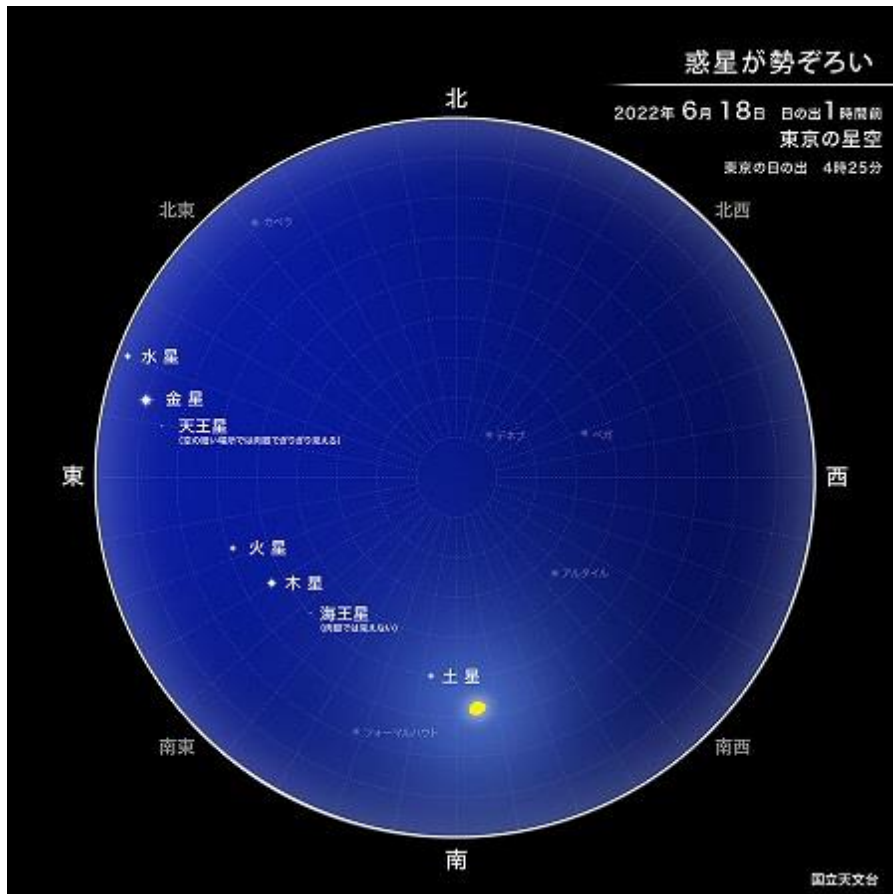
惑星が勢ぞろい

(早朝の空で惑星を全部見よう)



天空が広がるうぶやまの高原も梅雨を迎え、不安定な天気が続いています。夜半の天気は水蒸気を帯びて霞んだような星空が続いており、すっきりしません。

今回1つ目の星空情報は、6月18日から6月の月末までの早朝、日の出前の南から東の空で月が細くなりながら全惑星に接近することです。例えば、6月18日は南の空の土星の近くに月齢18の下弦の月前の半月より少し大きな月があり、そこから東の地平線に向かって、土星、海王星、木星、火星、天王星、金星、水星が並びます。肉眼で実際見えるのは月、土星、木星、火星、金星、水星の6つの天体です。肉眼でこれらの6つの天体を一目で見ることに挑戦してみてください。ただし、水星は地平線からの高度が低いので市街地では少し難しいかもしれません。天体望遠鏡がある方は、正確な位置を前もって調べておけば海王星や天王星も見ることができます。惑星たちはほぼ斜め一直線に並んでいますが、これは惑星が太陽の周りのほぼ同じ平面上を公転していて、それをやはり同じ平面上にある地球から見ているためです。天気が良くて毎日観察することができれば、月が細くなりながら各惑星に接近し、日に日に東側に移動していくのがわかります。早朝のため観察会は実施しませんが、早起きできる方はぜひ観察されてください。





6月18日早朝の月、土星、海王星、木星、火星、天王星、金星、水星の位置（産山）